

大阪大学蛋白質研究所セミナー 包括脳ネットワーク研究会 第4回神経科学と構造生物学の融合研究会

日時：平成25年11月19日（火）～20日（水）

場所：自然科学研究機構岡崎コンファレンスセンター

〒444-0864 愛知県岡崎市明大寺町字伝馬 8-1

11月19日（火）

<セッション1> 13:00-15:05 神経細胞ネットワーク

座長：饗場 篤（東大・医）

13:00-13:25 PSD-95 パルミトイル化酵素によるポストシナプス膜ドメイン制御機構

深田 正紀（生理研）

13:25-13:50 電位依存性プロトンチャンネルの構造

竹下 浩平（阪大・蛋白研）

13:50-14:15 神経シナプス・アクティブゾーンの分子構造基盤と生理機能

大塚 稔久（山梨大・医）

14:15-14:40 シナプス接着分子の構造

深井 周也（東大・放射光研）

14:40-15:05 末梢神経系における硫酸化糖鎖の役割

池中 一裕（生理研）

15:05-15:20 - 休憩 -

<セッション2> 15:20-17:00 神経科学と構造生物学の新しい潮流

座長：高木 淳一（阪大・蛋白研）

15:20-15:45 プロテオミクス解析と新規ゲノム編集技術

饗場 篤（東大・医）

15:45-16:10 NMRによるGタンパク質共役型受容体の機能解明

上田 卓見（東大・薬）

16:10-16:35 オプトジェネティクスを用いた睡眠覚醒調節

山中 章弘（名大・環境医研）

16:35-17:00 蛋白質立体構造および相互作用の予測

清水 謙多郎（東大・農）

17:00-17:15 - 休憩 -

<セッション3> 17:15-18:30 神経発生のダイナミクス

座長：五十嵐 道弘（新潟大・医）

17:15-17:40 セマフォリンのニューロピリン結合部位の解析

松永 幸子（阪大・蛋白研）

17:40-18:05 成体脳におけるニューロン新生のメカニズム

澤本 和延（名古屋市立大・医）

18:05-18:30 タンパク質時計のブラックボックスを開く

秋山 修志（分子科学研）

11月20日（水）

<セッション4> 9:00-10:40 神経発生における分子と形態

座長：中川 敦史（阪大・蛋白研）

9:00-9:25 巨大カドヘリンの電子顕微鏡構造解析

塚崎 克和（理研 QBiC）

9:25-9:50 中枢ニューロンにおける軸索分岐の分子機構

山本 亘彦（阪大・生命機能）

9:50-10:15 X線位相差CTによるマウス胎児の3Dイメージング

星野 真人（高輝度光科学研）

10:15-10:40 神経上皮の時空間形質の制御による小脳神経細胞の個性獲得機構

星野 幹雄（精神・神経医療研）

10:40-10:55 - 休憩 -

<セッション5> 10:55-12:35 精神神経疾患と分子構造

座長：貝淵 弘三（名大・医）

10:55-11:20 胃プロトンポンプの極低温電子顕微鏡による構造解析

阿部 一啓（名大・細胞生理研）

11:20-11:45 神経変性疾患の原因となるタンパク質の構造異常とその伝播

長谷川 成人（精神医学研）

11:45-12:10 アミロイドクリアランス受容体 sorLA/LR11 の構造

高木 淳一（阪大・蛋白研）

12:10-12:35 運動ニューロン疾患に対する分子標的治療法の開発

勝野 雅央（名大・医）

オーガナイザー：貝淵 弘三（名大・医）、中川 敦史（阪大・蛋白研）、高木 淳一（阪大・蛋白研）

参加要領：参加費無料、事前登録不要、懇親会参加歓迎

連絡先：〒565-0871 大阪府吹田市山田丘3-2 大阪大学蛋白質研究所 高木

Tel: 06-6879-8607, E-mail: takagi@protein.osaka-u.ac.jp